



2024年5月2日
第162号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

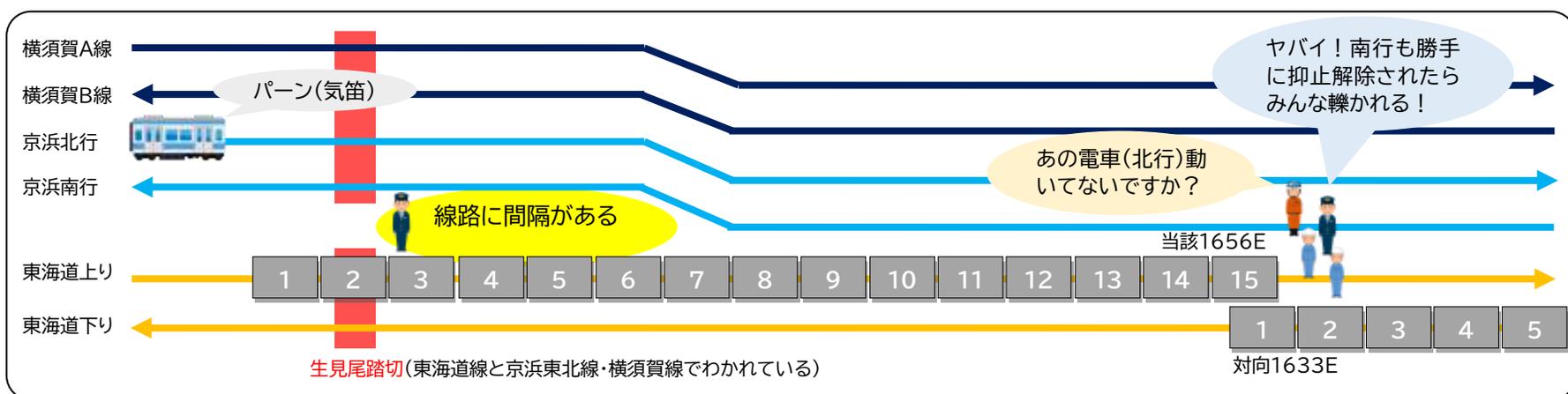
発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp>

東海道線（4月26日） 生見尾踏切人身事故 **現場混沌**

**安全確認が取れていない状態で京浜東北線・横須賀線抑止解除
「(京浜東北線)南行も動く！みんな死んじゃう！」叫ぶ声**



4月26日19時44分に東海道線横浜～川崎駅間の生見尾踏切で発生した人身事故の際に、応援に駆け付けた車両検査係や対向列車の運転士、消防士が作業中に京浜東北線と横須賀線の抑止が解除されていたことがわかりました。現場の生見尾踏切付近は東海道線と京浜東北線との間に空間があり踏切もわかれています。しかし、当該列車が停止した先頭(15号車)付近は線路に間隔がなく、抑止解除を知らされていない作業者は、京浜東北線南行線路に立ち入って作業をしていました。

消防士が京浜東北線北行が動いていることを認め、対向列車の運転士が「南行も動く。みんな死んじゃうかもしれない」と叫び、退避を促しました。

JR東労組横浜地本鎌倉車両センター分会は4月29日、国府津運輸区分会は5月1日にそれぞれ原因究明委員会を開催し、総勢21名が参加、車両検査係、駅係員、運転士、車掌、指令員と様々な角度から事象の検証を行いました。そこで見えたのは、立場の違う多くの作業者が携わる状況での抑止を解除するプロセスの課題や会社の運行優先体質が背後で影響しているということです。※原因究明委員会の詳細は次号以降お伝えします。

【時系列】

- 19:44 人身事故発生 防護無線発報
- 19:51 東海道線・京浜東北線・横須賀線抑止完了、防護無線復位
- 20:15 駅係員および車両検査係が現場到着
- 20:20 現地責任者を駅係員に変更
車両検査係は海側・山側にわかれ車両点検開始
※京浜東北線・横須賀線の抑止が解除される
- 20:35 当該列車の先頭付近で作業
横須賀線が現場を通過
京浜東北線北行が動き出すところを消防士が確認
対向列車運転士が付近の作業者に退避を促す
車両検査係が消防士に退避を促し運用指令に抑止依頼
対向列車運転士が現地責任者に抑止依頼
- 20:45 再び京浜東北線を抑止 ※この間京浜東北線北行2本通過
- 20:53 車両検査係、車両点検終了
- 21:07 負傷者の救出完了
- 21:54 関係者の退避完了・運転再開

**JR東労組横浜地本は命を最大の価値基軸に原因を究明していきます！
このままでは会社に殺される！JR東労組に結集し共にたたかおう！**